

令和元年度第2回日進市総合戦略推進委員会 議事録

日 時 令和元年12月25日(水) 午前10時から午前11時55分まで

場 所 日進市役所南庁舎2階 第5会議室

出 席 者 坂井陽二、福安克彦、鶴飼宏成、亀倉正彦、近藤崇、三村剛、高岡俊彦、
住田穂積、基優子

欠 席 者 市川耕一

事 務 局 石川達也(企画部長)、辻武(企画部調整監)、
水野隆史(企画部次長兼企画政策課長)、安彦直美(企画政策課課長補佐)、
河合一成(企画政策課市政戦略係長)、松井啓子(企画政策課市政戦略係主査)

説明の為に
出席した者 山田進(生活安全課長)、長原範幸(都市計画課担当課長)、
川瀬雄治(都市計画課基幹施設整備室スマートインターチェンジ整備係主査)、
萩野一志(道路建設課長)、石原幸治(道路建設課課長補佐)

傍聴の可否 可

傍聴の有無 無

次 第

- 1 開会
- 2 諮問
- 3 議題
 - (1) 主要事業の進捗状況について
 - 施策3-2 便利で安全安心な暮らしの実現
 - (2) 日進市人口ビジョンの見直し及び次期総合戦略の策定について
- 4 その他
- 5 閉会

配付資料

資料1 施策3-2 便利で安全安心な暮らしの実現

資料2 日進市人口ビジョンの見直し及び次期総合戦略の策定に係る本市の方針
について

資料3 県内他市町村の次期総合戦略の策定に係る動向について

資料4 総合計画と総合戦略を一体化している他市の事例

	1 開会
	2 諮問
	(副市長から諮問書を手交)
	3 議題
委 員 長	議題(1) 主要事業の進捗状況についての施策3-2 便利で安全安心な暮らしの実現について、説明をお願いします。

事務局 生活安全課 都市計画課基 幹施設整備室 道路建設課	(資料1に基づき説明)
委員長	それではみなさんの疑問などを確認しつつ進めたいと思います。ご意見ご質問があればお願いします。
委員	2点あります。1点目は、資料1の1ページ目に、防犯対策をしている市民の割合とありますが、これには人口の変動は反映させてありますか。これだけが相対値で他は絶対値なのですが。
事務局	市民意識調査を2年に1度行っておりまして、その回答に基づく数値になっています。3千人を対象に抽出調査を行っており、人口が増加していても統計的に全体の傾向がわかるように調査しています。
委員	わかりました。2点目は質問というより意見です。10ページ以降の交通安全施設の整備について、1ドライバーの立場で申し上げますと、見通しの悪い場所にミラーがないのが気になります。道路標識や柵はあるのですが。ミラーを増やしていただくことをご提案させていただきます。
委員	資料には防犯のことがいろいろ書いてありますが、スマートインターや道の駅ができると治安が悪くなるのではないかと、というのが私の心配です。スマートインターができたら、周辺の家へ空き巣に入っただけで逃げられると、近隣の住民の方も仰っています。また、道の駅は少し前に犯罪者が寝泊まりしていたということもあったので、その辺りの対策は何か考えていますか。
生活安全課	いま新市街地、道の駅やスマートインターなど、まちづくりの状況が変わった中で、市の取組として進めていくべきは防犯施設、防犯カメラの設置と、地域の方と市・警察との連携を取っていくことです。それが防犯の意識の向上につながるのではないかと考え、そのような意識が高まるような啓発が大切と考えています。
委員	それでは、道の駅ができたら近隣住民の方たちが夜に見回りをすることになるのですか。
生活安全課	道の駅につきましては、それに特化した防犯カメラが必要と考えています。
委員	高校生等がたまり場にすることも心配ですが、それも防犯カメラで監視をするのでしょうか。
生活安全課	市の取組の中には、防犯アドバイザーによる夜間の巡回などもあり、そういうものを強化することで防犯対策をしていければと思っています。
委員	私の妹は学校の先生なのですが、夜中まで見回りをするなど先生の負担にもなっています。防犯アドバイザーの巡回をするのであれば、少人数は負担がかかるので、しっかり人数を増やすなどして、なるべくみんなでという体制を

	作っていただきたいです。
生活安全課	防犯アドバイザーの巡回については、必要に応じて強化に努めたいと思います。
委員長	<p>別の自治体での私の経験から言いますと、一宮市にはインターチェンジが4つあります。よく通説で、入りやすく出やすいので一宮は犯罪が多いと言われることもあります。最近では防犯カメラがいろいろな場所に設置されているので、抑止力にもなるのではと思う一方で、犯罪の絶対的な数が多いというのも事実です。</p> <p>そのような中で、各自主防犯グループの方々が昼夜問わずしっかり回られていまして、中には、担当エリアごとの犯罪件数の減少やどのような犯罪が増えているのかを警察と一緒に相談して、記録を取って、それを回覧しているような自主防犯グループもあります。自主防犯組織は本当に自主的な活動なので、善意の中での発意で成り立っているという防犯の体制に対して、道路の設置などは市の責任の中でされています。自主的な取組と市の責任のバランスの問題があり、また、自主防犯組織の方々にどういう支援をしていくのかというの、とても重要なことだと思います。</p> <p>自主防犯組織は活動の度合いに差があります。自発的な活動であり、後継者が見つからず加齢とともに停滞してくる実態もあります。また、おそらく警察OBのいる団体はしっかりと警察署と連携して、データの調製や巡回範囲の検討などをやっているということもあります。巡回ルートを変えると侵入盗などの発生場所も変わったりしますので、どういうふうにルート等をランダムに設定していくかというようなことなど、やはり専門的な知識からのアドバイスが必要です。自主防犯組織だからといって、行政から一方的によろしくお願いしますという形では、本当の意味での防犯は実現していかないのではと感じています。</p>
委員	防犯カメラについてもそうですが、いま住宅街も含めて、防犯カメラが設置してありますという、防犯を啓発するようなプレート・看板はあるのでしょうか。自治会区での設置などはどのようにされていますか。
生活安全課	市は地域への防犯カメラの設置の補助を進めていますが、それと同様に、犯罪者が入りにくい環境につながるよう「監視区域」というプレートを公民館などにつけていただいています。今後このような取組も広げていきたいと、現在、警察と協議をしています。
委員	他の自治体の事例でもそのようなプレート設置は効果があるという話を聞いていますので、ぜひ進めていただきたいと思います。
委員	道の駅にしろ、スマートインターにしろ、新しいものを造るとリスクもあります。それに対して対策をきちんとやらなくてはいけないと思います。そういうものを造ることによってまちの活性化が図られるのであれば、それはそ

	<p>れでいいのかなと思います。ただ、私は実際に市内をよく移動しますが、スマートインターチェンジがあつた場所にできると、三本木から南山へ抜ける五反田の交差点が普段でも渋滞しますので、その部分の渋滞緩和の方法を何か考えておかないと、他の場所で不便が発生する可能性があります。その辺りは一つご検討いただきたいと思います。</p>
委員長	<p>普段生活されている住民としてのご提案をいただきました。よくご検討いただければと思います。</p>
委員	<p>抜け道・裏道が渋滞しているほどですから、ご意見に賛同します。</p>
都市計画課基幹施設整備室	<p>市としてもあの場所は課題だと考えております。いま市道の黒笹三本木線が工事中でして、三本木側に道を整備しています。この道路により、これまで五反田へ流れていた車が、若干そちらへ転換されると考えています。</p>
委員	<p>名古屋商科大学の辺りのことでしょうか。</p>
都市計画課基幹施設整備室	<p>はい、そうです。今年度末か来年度頭くらいに開通する予定ですので、若干の解消は図られるのではないかと考えています。</p>
委員	<p>その道はどこからどこへ抜けていく道ですか。</p>
道路建設課	<p>名古屋商科大学から西へ下りて来ますと、総合運動公園からくる道路とT字の交差点になっていますが、そこから黒笹駅の少し北で道路につながります。愛知国際病院から北へ上がってきたところにつながると言ったほうが、わかりやすいかもしれません。</p>
委員	<p>五反田の道とは違うので、それが渋滞緩和になるとは私にはあまり思えません。</p>
道路建設課	<p>五反田の交差点につきましても、近年愛知県により改良されており、まだ不十分な面はあるかもしれませんが、右折レーン等が整備されています。</p>
委員長	<p>いずれにせよ、意見のあつたとおり、新しいことが起きれば新しい流れができますので、改めて少し広い視点で再点検をお願いします。</p>
委員	<p>スマートインターについて整備効果を読みましたが、平日5分の時間短縮等があることに対して、20何億円も整備費をかけるという費用対効果がわかりません。5分短縮したらこれだけ経済効果があるよ、という説明をお願いします。</p>
都市計画課基幹施設整備室	<p>渋滞緩和の効果も大切ですが、大規模災害の対応強化であつたり、密集観光地への振興促進、時間短縮や観光地までのわかりやすさであつたりを効果としてまとめ、国から採択をいただいております。時間短縮効果もある中で、様々な効果をまとめて整備効果としているものです。</p>
委員	<p>説明会にも行きましたが、参加者の方のほとんどが納得していない感じでした。これは私の感想です。それについて、「パブリックコメントもやりました、説明会もしました、だからもう十分説明しました。」という印象で、私は進め方自体が問題ではないかと思っています。災害などのこともあります。</p>

	<p>パブリックコメントでもみなさんすごく細かく疑問を伝えてらっしゃるので、先ほどの返答では私は納得できません。</p>
都市計画課基幹施設整備室	<p>仰るとおりパブリックコメントでも厳しいご意見をいただきました。その後もさらに要望に応じて我々職員も順次説明に回っていきまして、地域の方や地権者の方にも事業の説明をさせていただいています。まだ説明不足かもしれませんが、求められれば説明に行くように努めております。</p>
委員	<p>では、全市民的にも何度か説明会をお願いします。</p>
委員長	<p>この総合戦略推進委員会は、実際にやられている施策の点検の会です。ですので、参加者の委員の1名の方だけでなく、ひょっとしたら多くの方が求められているかもしれないという意味において、貴重なご意見であると私は考えます。市の方でも、この施策がよりうまく推進されていくためにも、それ相応の行動力を追加でお願いするというのが、委員会として主張していくことだろうと思います。</p>
委員	<p>市が実行する事業というのは少なからず市民のために行われるものだと思います。今回はスマートインターが挙げられていますが、スマートインターを完成するには長年の時間を要します。市民に対してのメリット・デメリットや効果を考えたときに、メリットがデメリットを上回るのので自治体が事業として実施するわけです。</p> <p>ただ、デメリットを無視せよということではありません。丸一年前に大型商業施設がオープンしました。オープン前に交通状況が想定されていましたが、現在、土曜日曜は私の住んでいる地域でも想定外の大きな渋滞が起きています。特に、大型商業施設で有名人を呼ぶイベントがあると、バイパス周辺は東西も南北も渋滞するため、多くの車が回り道をし、他の地域にまで影響が出ています。この状況が必ずしも同様に、スマートインター近隣の三本木や米野木の地域へ影響するとは限りませんが、懸念はあります。事業としては、日進の住民に対してのメリットは大きいと期待をしています。</p> <p>一つ気になることがあります。使用するエリアのほとんどが日進でありながら東郷スマートインターという名前はどうかと思っています。</p>
委員長	<p>お二方のご意見は、不測の事態が発生することも考えられるということ、また、先例の経験から事前に対策をいくつか講じていく必要があるのではないかと、ということだと思います。理想の違いを越えて、お互いに意思疎通を図れるような努力を相応にさせていただくことを期待して、この会としてはいったんここで話を区切りたいと思います。</p>
委員	<p>通学路の件ですが、ブロック塀が気になっています。個人のお宅なので行政が壊しなさいとは言えないと思いますが、子どもの背より高い、2メートル近い、古いおうちのブロック塀の横を子どもたちは通っていきます。以前、ブロック塀が壊れて子どもが下敷きになって亡くなったことがあったので、通学</p>

	<p>路をチェックして危ないところがあれば「壊せませんか」と相談に行くなり、補助金を増やすなりということが考えられます。道路の舗装等を一生懸命されていますが、ブロック塀のことも入れていただければと思います。</p>
道路建設課	<p>建築課所管で危険なブロック塀を撤去する補助金制度があり、12月に予算を補正増するなど対策を進めています。</p>
委員	<p>知り合いの年配の方が実際に見積もりを取ったら、大谷石を撤去するため大変高額になったということで、とてもじゃないけどできないと言っていました。補助が10万円かと思いますが、補助の金額を上げるとか、所得に応じて、たとえば年配の年金暮らしの方であれば増額するなど、もっと促進できる方法を考えていただきたいです。</p>
道路建設課	<p>個人の財産であることなどから、すぐには難しいかもしれません。</p>
委員長	<p>テーマである「便利で安全安心な暮らしの実現」の安全安心という視点からいっても貴重なご意見だと思いますし、これはおそらく防災の視点からも大切な言葉でしょうから、別の枠組みの中でのご検討も進んでいるかと思えます。連携して対策を講じていくのが肝要かと思えます。</p>
委員	<p>1ページのKPIで、防犯対策をしている市民の割合を上げていこうという指標なのですが、具体的にどうしたらこの数字が上がるのか、どのような活動をしているのかを教えてください。</p>
生活安全課	<p>こちらの数字は市民意識調査での結果になりますが、家や車や自転車など、いずれかに取組をされている方が該当になります。たとえば家ですとセンサーライトなどの対策がありますし、車ですとイモビライザーやハンドルロック、自転車だとワイヤーロックというのがあります。1つでもやっていくことで数値が上がっていきますので、啓発をしていくことがまず大切だと思っています。そのためには広報紙やホームページで周知をして、防犯意識を向上させるというのが挙げられます。</p>
委員	<p>私は日進市に住んでいますが、私の住む地区の中で防災に関する取組はしていますが、住民みんなを集めて防犯の取組をするということがありません。ぜひ自治体から「やってはどうですか」と促していただけるとよいです。先ほどの事例のように、警察官だった方等の人材を発見していただいたりすると、この数値が上がっていくのではと思いますので、よろしくお願ひします。</p> <p>もう1つは、市民意識調査の結果で、重要度は高いが満足度は低いという記載が資料にあります。これはほぼ横ばいにみえます。防護柵やガードレールをあれこれやっているにも関わらず、この数字がほぼ横ばいと私は捉えています。どのような分析といえますか、どう捉えていますでしょうか。</p>
道路建設課	<p>市全体の意識調査ですので、工事をした部分が直接反映されるものではありません。先ほどご説明した通学路交通安全プログラムで通学路に特化して対策を行う部分については、通学路として利用する児童生徒が在籍している</p>

	<p>学校へのヒアリングやアンケートを取るなどしながら、効果をわかりやすく検証していきたいと考えています。市全体として効果を検証して満足度が上がるというのは難しい部分がありますが、まずは学校から直接的な効果を把握できればと考えています。</p>
委員	<p>そうであれば見せ方の問題かと思しますので、変えられるとよいと思います。</p>
委員	<p>補足してもよろしいでしょうか。ただいまのお話ですが、この項目は満足度で評価しないほうがよいのではないかと私は思っています。それには理由があります。ハーズバーグという学者が動機づけ・衛生理論というのを提唱していきまして、彼は、満足度の要因と衛生（不満足）の要因という二つの要因を出しています。要は今回の防犯とか交通安全というような話は、きちんとできていて当然で、それが特に満足につながるかということそうではありません。むしろできていないと不満の要因になっていきます。これを衛生要因と言います。ですので、満足度として調査するのではなく、不満足度を聞いてみたらいいのではないかと思います。そうすると、何か不満の要因があるならばそこをチェックしますし、特に問題がなければそんなにチェックが入らないということになります。数字としてはより評価しやすいと言いますか、政策の適切さをより評価しやすいデータが得られるかもしれません。仮説的な部分もありますが、そのように思いました。</p>
委員長	<p>私たちは日進市市民意識調査の項目を知らずに話していますので、どんな聞き方をしているのかということから再度事務局でご検討いただかないと、正確な結論は出てこないだろうと思います。ただ、お二人の方からご指摘がありましたので、より適切な数字で判断ができるような形にさせていただけるといいなと思いますし、学校へのヒアリングやアンケートによる効果検証の話が事務局からありましたが、この数字とそれはおそらく違うものになってしまうので、そういう意味でもう少し総合的に戦略を立てて検証していくことが望まれると思います。</p>
委員	<p>いまの話ですが、私がアンケートに答えるとこの結果と同様になります。「交通安全が大事だけど満足はしていません」になるので、これは間違っていないと思うのですが。</p>
委員	<p>見方の問題ですね。整備計画というのは学区ごとにやっていくものですが、アンケートは市民全体で取るので、整備計画を実行した学区で取ると違う回答が出てきて、市民全体でやるとこういう結果になるのは普通のことだろうなと思います。そういう取り方や表し方の問題もありますが、この満足度が極端に高くなるということはないのではと私は思っています。</p>
委員長	<p>そういう意味では、この数字の解釈・解説が必要なのでしょう。ご検討いただければと思います。議題1についてはここで終了といたします。</p>

	(生活安全課、都市計画課基幹施設整備室、道路建設課退席)
委員長	議題(2)日進市人口ビジョンの見直し及び次期総合戦略の策定について、事務局から説明をお願いします。
事務局	(資料2～4に基づき説明)
委員長	新たに加わった諮問事項です。事務局から説明もありましたが、1点目は、次期総合戦略の策定期間を総合計画と同じタイミングにすること、それに伴い、来年度から次期総合戦略をスタートしていく予定でしたが、いままでのものを1年継続して、2021年度からのスタートに切り替えていくという提案です。他都市においても同様の理由から計画期間を延長したり、先例においては、早めに策定して同一のものにしたりしたという事例もありますので、そのほうが市として効果的かつ、より実効的に計画しやすいということでご提案があったものです。これが一つ目の審議事項です。2点目は、日進市の人口ビジョンについてより精度の高い推計値が出てきたということで、それに基づいて見直していくというものです。この2点について忌憚のないご意見をいただければと思います。
委員	資料3に、始期を2020年としない自治体が県内で18団体とありますが、もともと総合計画と総合戦略の見直しのタイミングが合っていて、両方とも2020年にスタートとして一体的にやっている自治体もこの他にありませんか。つまり、そもそも総合計画は各自治体でバラバラの時期に作っていますから、たまたま総合戦略とタイミングが合ったという自治体もあるのではありませんか。
事務局	総合戦略の計画時期が来年度からとなりますので、そこに総合計画の計画期間が合う自治体もあるかもしれませんが、今回の調査からはそれが読み取れるものではありません。
委員	把握できるのは18団体ということですね。一体的に行うのは合理的で、かつ、計画策定時にKPIも一緒になって運用されるということは民間企業であれば当たり前のことです。一体化することでのメリット、たとえば策定する職員の負担削減ですとか、こういうことができますよというメリットと、逆に、別々にしておられる自治体はその理由をもう少し教えていただきたいです。
事務局	メリットとしては職員の負担軽減ももちろんあります。総合計画の中の基本計画という中身の策定をしていくにあたって、職員が総出で考えていくわけですが、中には当然総合戦略に関係する内容もありますので、二度別の場で検討する必要がないということで職員の負担軽減につながると思います。一方で、この総合戦略を延長せずに作られるという自治体については、おそらく今年度や昨年度の時点で総合計画の中身まで作られており、そこから引っ張ってくる形で総合戦略が作れるので一体化をしないのではないかと考えてい

	<p>ます。</p> <p>一時期話題にもなりましたが、第1期の総合戦略を作る際は自治体がほとんどコンサルタント会社に外注して東京のコンサルタント会社が潤うということになり、どこが地方創生なのかとニュースにもなりました。日進市としては、今回は自前で作っていく予定ですので、総合計画と一つにすることは職員の負担軽減というメリットがあると考えています。</p>
委 員	<p>資料3で理由に横線が引いてある自治体は、回答を得ていないということでしょうか。</p>
事 務 局	<p>これは国が行った調査ですが、項目が「2020年度を始期としない理由」となっておりまして、2020年度から開始する自治体についてはそもそも理由を書かないものです。</p>
委 員	<p>ということは、先ほどのお話のとおり、たまたま総合計画の策定と合致しているケースもありうるということですね。</p>
事 務 局	<p>その通りです。</p>
委 員	<p>そうであるならば、総合計画と総合戦略を一致させずに、あえて別個に進めていくケースがあるのかもしれないと考えられます。すると、そこにはもしかしたら総合計画と総合戦略を一体化させることへのリスクがあるかもしれないので、その点は適切に評価していく必要があるかと思います。お話を伺っていますと、メリット、効果や効率というのが市役所目線であると感じます。事務削減が効果的にできるからという説明よりは、しっかりと一体化させるリスクも評価した上で、こういうリスクもあるが一体化することでそのリスクを軽減させながら行うことができる、というのを示すのがよいでしょう。資料4の3つの事例の中にも当てはまるものがあるように思いますので、そういった点を評価しながら作るのがよいと、説明を聞きながら思いました。</p>
事 務 局	<p>ご指摘のとおり、一番のメリットは市政を効率的、効果的に運営できる点になりますので、その説明が十分ではありませんでした。</p>
委 員	<p>総合計画はいま市民の方が集まってワークショップをやっていて、それはとてもいいことですから続けてほしいと思いますが、一体になったときにその取組は残るのでしょうか。</p>
事 務 局	<p>その取組は残りますし、これからもご意見をお聞きするという点も変わりません。どちらかというと、総合計画の中にこれまで入ってこなかった人口減少克服や地方創生という視点からのものを入れて、それを総合計画策定市民ワーキンググループの方たちにお示しする形になります。</p>
委 員 長	<p>市民の意識が少し変わるというイメージですか。</p>
事 務 局	<p>意識が変わるといいですか、そういう視点も含めた計画になりますので、その点も含めてご意見をいただきたいというものです。</p>
委 員 長	<p>個人的な意見ですので参考程度にお聞きいただければと思います。資料4</p>

	<p>の掛川市の事例の41ページについて、このポンチ絵でいくと、おそらく総合計画は市として幅広い視点で整備していかなければいけない長期的な領域で、何をすべきなのかということをしかり考えるものであり、そこには市民の方々の意見も取り入れながら、体系的にそして意味のあるものをしていくというものでもあります。そして、ここで重点施策と総合戦略というふうに関係づけて連動して書いてあるのは、おそらく総合戦略のほうがもう少し機動的に施策を吸い上げて特徴的にやっていこうということでしょう。</p> <p>いまの私の説明ですと、どこか特定の個別施策を中心にやろうとしているように聞こえてしまいますが、別府市の事例の13ページを見ますと、総合計画と総合戦略の位置づけの違いというのが視覚的に示されています。個別目標の左側、12ページのところまでは総合計画で掲げられている内容や目標ですが、それに対して総合戦略は右側の4つの縦の帯の部分です。総合戦略は総合計画の中で個別に行うものとして掲げられるのではなく、総合戦略という目線で見たとときに、重点的にかつ部署横断的に関わるような事項を一体的にやっていくことで、総合計画自体の実行性を意義あるものにしていくところに位置付けているのだらうと、私は理解しました。</p> <p>多くの人はまだこの違いをわかっていませんから、どうやってこの両方を両立させながら進めていくのかということをもっと議論をして、わかっていただけるような説明をつくっていく必要があると思います。私の拙い理解ではありますが、いま申し上げたことが、一つの考えるきっかけになるかと思えます。</p>
<p>委員</p>	<p>私が聞いた事例になります。最近ロジックモデルというのが流行していますが、ある自治体から総合計画に市民を巻き込んでいきたいという話があり、ロジックモデルを総合計画に取り込んで失敗したという事例を聞きました。具体的に言いますと、先の総合計画の策定のときにロジックモデルを使っただけで、次の総合計画のときに使わなかったという事実がありました。ロジックモデルはアウトプットとアウトカムを区別しなくてはいけないのですが、そこが面倒である上に、市民の方が理解しにくいものになってしまうというのがその理由だそうです。</p> <p>市民を巻き込んで総合計画と総合戦略を一体化させていく上で、計画部分と戦略部分は少し区別したほうがいいと思います。計画のほうは総花的な部分があると思いますので、ここには見落としがあっては絶対にいけないと思いますし、市民の声を拾い上げていく必要があると思います。他方で戦略の部分というのは、最終的な目的と中間目標を持った上で、それをどういうKPIで評価していくのかということになります。このKPIというのがアウトプットの指標なのです。アウトカムに行く前の段階のKPIという指標が達成されれば市の目標が達成された、というような誤解がいま増えていると感じますので、何を狙っているのかということと、どういう数値で計っていく</p>

	<p>のかという、ブレイクダウンの仕方がすごくコツが要るところだと思っています。そこだけ気をつけていただきたいと思います。</p> <p>最近私も、全国から数百名の参加者がいる会場でロジックモデルの説明をしましたが、とても大変でした。そういう意味では、総合戦略は出発点が人口問題を端緒にしている、その人口問題を解決するために市としてどういう大きな方向性を持つのか、という点で目的の共有がしやすいので、ロジックモデルは有効なケースだと思います。手間もかかりますので、総合戦略でロジックモデルを使ったほうがいいとは申し上げません。ただ、使うことを検討する余地はあるのではないかとことです。気づいたこととして申し上げました。</p>
委員長	<p>ぜひ失敗のご経験も含めて参考にして、進めていただけるといいと思います。</p>
委員	<p>人口ビジョンのことで気になることがあります。活力ある地域社会の実現というテーマが出てきている中で、それでは活力ある地域社会を担っていくのはどういう世代の方たちなのかという話と、現在人口問題研究所が出している人口区分がその世代を表すものとなっているのか、というのは気にかける必要があると思います。というのは、定年の引き上げの問題などが出てきていますので、60歳で計算したほうがいいのか、それとも65歳なのか、70歳なのかということです。他の自治体の例ですが、人口問題研究所とは違う人口の区分をその自治体で作って、わがまちでの活力ある人口、活躍する世代というのがこの年齢までだと定義して、柔軟に運用したケースがあり、国からも評価されたと聞きました。そのためにはストーリーやビジョンを描くようなセクションが必要で、それができるのは、私は企画部門しかないのではと思っています。コンサルタントに踊らされないという意味も含めて、企画政策課のみなさんのパワーにすごく期待をしています。また、そういうものを適切に検討する委員会組織のようなものがあるならば、ぜひそれもと考えます。</p>
委員長	<p>私から2点申し上げたいと思います。次期総合戦略については市が独自にイニシアチブをとってやられているということですが、日進市には多様な大学がございますので、多様な知見をお借りすることが可能だろうと思います。むしろ市の職員と学識者の方々が一体となる形で詰めていくほうが、市としてもやりやすいのではないのでしょうか。ただし、その際にはしっかりとしたビジョンと、方針の軸を市自身が持たないと、学識者のいろいろな意見に踊らされてしまいますのでご注意ください必要があります。</p> <p>2点目ですが、この総合戦略の策定の前の段階から、ときには総合計画の実施においてモニタリングをするところも経験させていただいた立場から申しますと、総合戦略と総合計画は一体化したほうが現況においては望ましいと考えています。その理由は、総合戦略で出てくるKPIや指標はほとんど総合計画の中でベースとなって採用されている数字であるという事実と、総合戦</p>

	<p>略の中で対象とする戦略も、結果的にはすべて総合計画に基づいた施策が出てきているということです。従って、そもそも根っこは一緒で、どうやって計画するかということと、どう戦略的に動かすかということが、すでにそういう形で運用されてきたと感じていますので、せっかくなら同時期に始めてよりいい関係性で進めたほうが結果を出しやすいと考えます。</p> <p>人口ビジョンについては、新しい推計をベースとして考えていくということでしょうか。</p>
委 員	<p>人口ビジョンについて、以前、別の委員会に出ていたときに、11万人に達するというデータが市としてあって、また、ある委員会では9万人で頭打ちになるというデータがあったような記憶があります。おそらく総合計画と総合戦略のギャップがそこにあったのかなと思います。そうすると、やはりいまお話にあったように、総合計画と総合戦略を合体して進めていかないと、具体的に数値目標を決めてもうまく稼働していかないのではないかと感じます。そういう意味では、一体化していただくとよいと思います。</p>
委 員 長	<p>他に意見はよろしいですか。</p>
	<p>(意見なし)</p>
委 員 長	<p>それでは、この委員会においては、日進市人口ビジョンの見直しについて原案を採用します。また、総合戦略の策定については、総合計画と歩調を合わせる方向で提案いたします。</p> <p>それでは、事務局へ進行をお返しします。</p>
事 務 局	<p>本日は長時間にわたりご審議をいただき、ありがとうございました。次回の総合戦略推進委員会ですが、3月頃の開催を予定しています。開催日時につきましては、改めて担当からご連絡をさせていただきますので、よろしく願いいたします。</p>
	<p>閉会</p>